
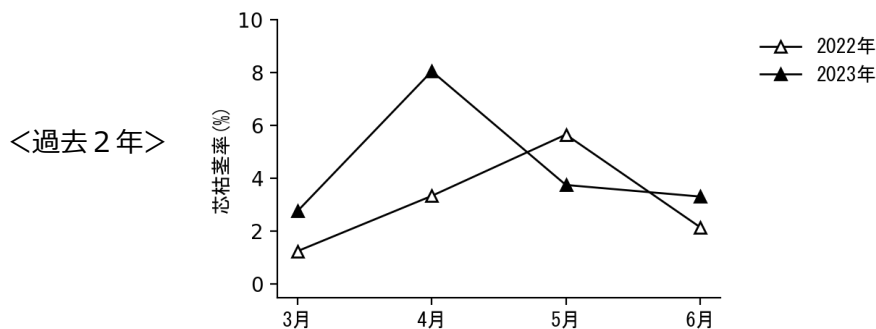
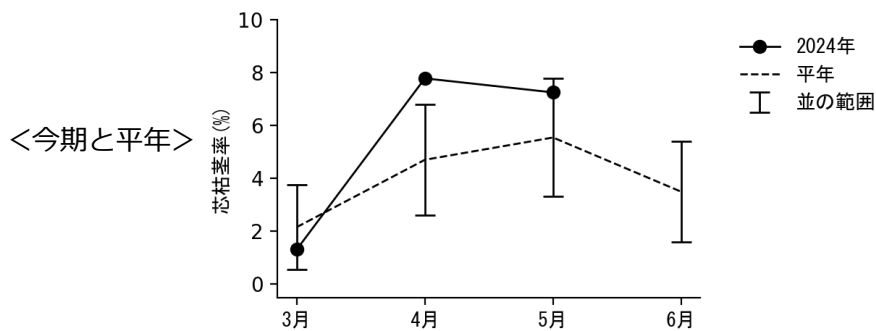


作物	さとうきび		地域	沖縄群島
病害虫名	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ・イネヨトウ)			
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	並		
予報	5 月からの増減傾向	↘		
	6 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↘)		

調査結果


芯枯茎率の推移 (株出し)



- ・発生種：カンシャシクイハマキ (86%)、イネヨトウ (14%)
- ・発生ほ場率87.5% (平年：96.7%)、多発生 (久米島、南大東島)

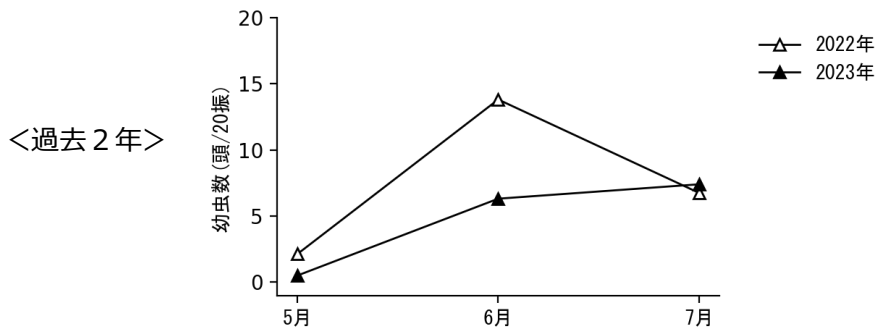
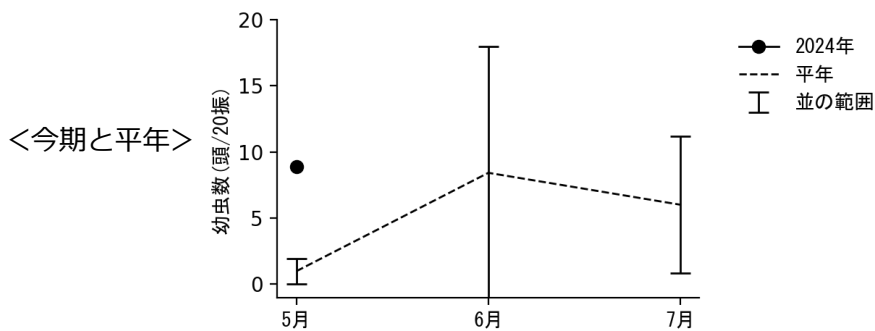
防除のポイント

- ・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。
- ・茎葉への乳剤散布は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。

作物	さとうきび		地域	沖縄群島
病害虫名	② バッタ類			
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	やや多		
予報	5 月からの増減傾向	↗		
	6 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)		

調査結果

幼虫数の推移



- ・発生ほ場率87.5% (平年 : 36.2%)、一部ほ場で多発。
- ・多発生 (南大東島)

防除のポイント

- ・発生源となるほ場及び周辺のイネ科雑草の除草を徹底する。
- ・幼虫期の防除が効果的なので、6月にほ場周辺の見回りを行い幼虫の早期発見・防除に努める。